

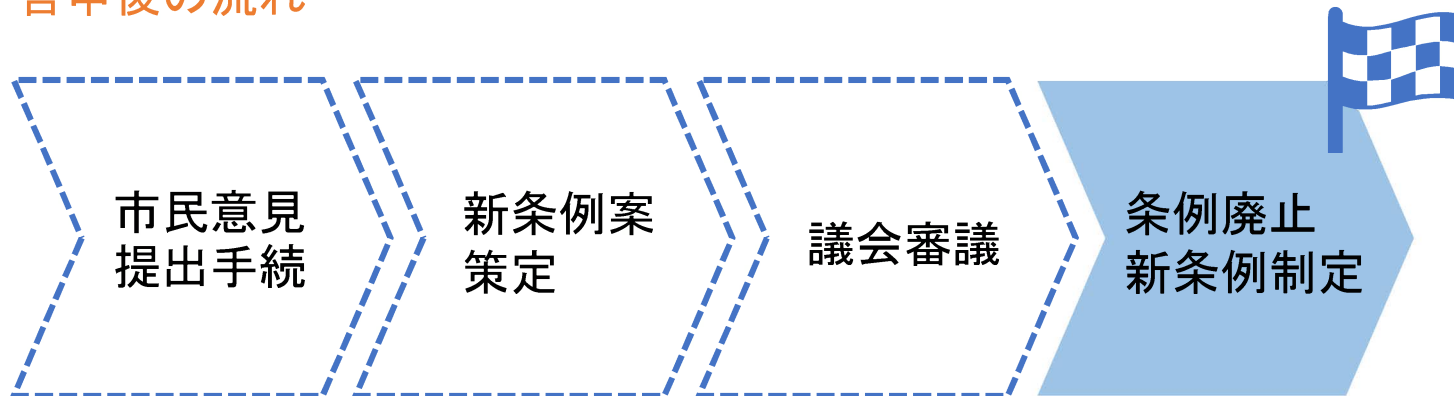
# 資料1 今後のスケジュールについて

## 1 審議会における流れ



- ・ 条例の廃止及び新条例制定について諮問
- ・ 新条例骨子案
- ・ 視察報告
- ・ 施設見学
- ・ 施設活用の可能性
- ・ これまでの審議まとめ
- ・ 施設イメージ
- ・ 答申案

## 2 答申後の流れ



### 1 設置目的について

いただいた  
御意見

- 持続可能かつ脱炭素社会の形成が重要になっていくこと、廃棄物が何かの原料になっていくこと等を考えると、従前の設置目的プラス幅広く今後の時代変化に対応できること
- プラスしてSDGsの要素を入れるような目的だとより良い

環境問題やSDGs等の時代変化に応じた課題に対応することができ、持続可能な地域社会形成に資するため

### 2 施設の機能について

いただいた  
御意見

- 市民が集まれる施設
- 環境問題等の課題は、子供の頃からの体験や意識づけが大切
- 施設の魅力に応じた料金徴収
- 気軽に利用できる無料スペースの確保
- 座るスペースがたくさんあると幅広い年代が利用しやすい
- 現在は情報発信が弱い

- ① 気軽に利用できる空間(スペース)を有し、来館者同士の交流が生まれるような機能
- ② 幅広い年代が体験などを通じて環境問題を意識できる機能
- ③ 環境に関する地域の情報を発信できる機能

### 3 施設の事業について

いただいた  
御意見

- 「環境」というテーマに基いたリサイクルプラザでしか出来ない、リサイクルプラザだからできる事業展開を期待
- リサイクルだけにこだわらず、市民が興味ある講座や体験ができたり、子どもが遊ぶことのできる屋内設備
- 施設のオリジナリティが必要
- 再生品の展示販売など現在の事業の継続
- 「廃材の再利用」を重点にし、市民が楽しむことが出来る施設であってほしい



- ① 環境問題等に対し、幅広い市民が楽しみながら、体験等を通じ、自ら考え行動することができる教育機会の提供
- ② 環境について関心や理解を深めることができる講座や講演会の開催
- ③ 施設の特徴を活かし、引き続きごみの減量やリサイクルの推進に関する事業

### 4 その他運営手法や料金制度について

いただいた  
御意見

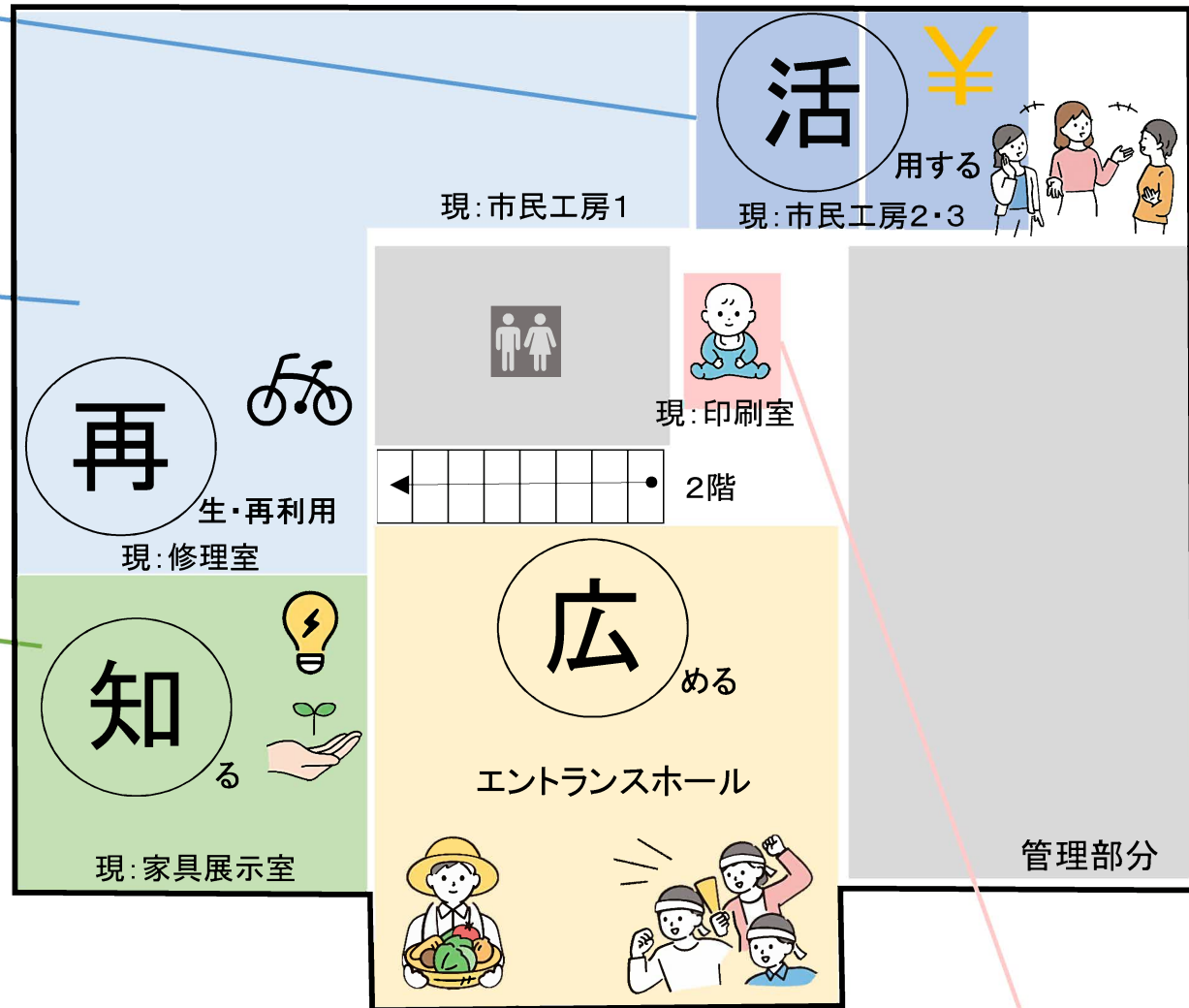
- 施設の魅力や機能に見合った料金制度 → 減免規定の検討を
- 指定管理者制度導入による料金徴収 → 新たな事業展開への期待
- 施設機能に見合った名称変更を → 新名称の検討へ

サークル活動や  
講座開催  
(貸館可能)

家具や自転車等の  
再生・再利用品販売事業に利用

環境に関する最新の情報や  
体験を通して学べるエリア

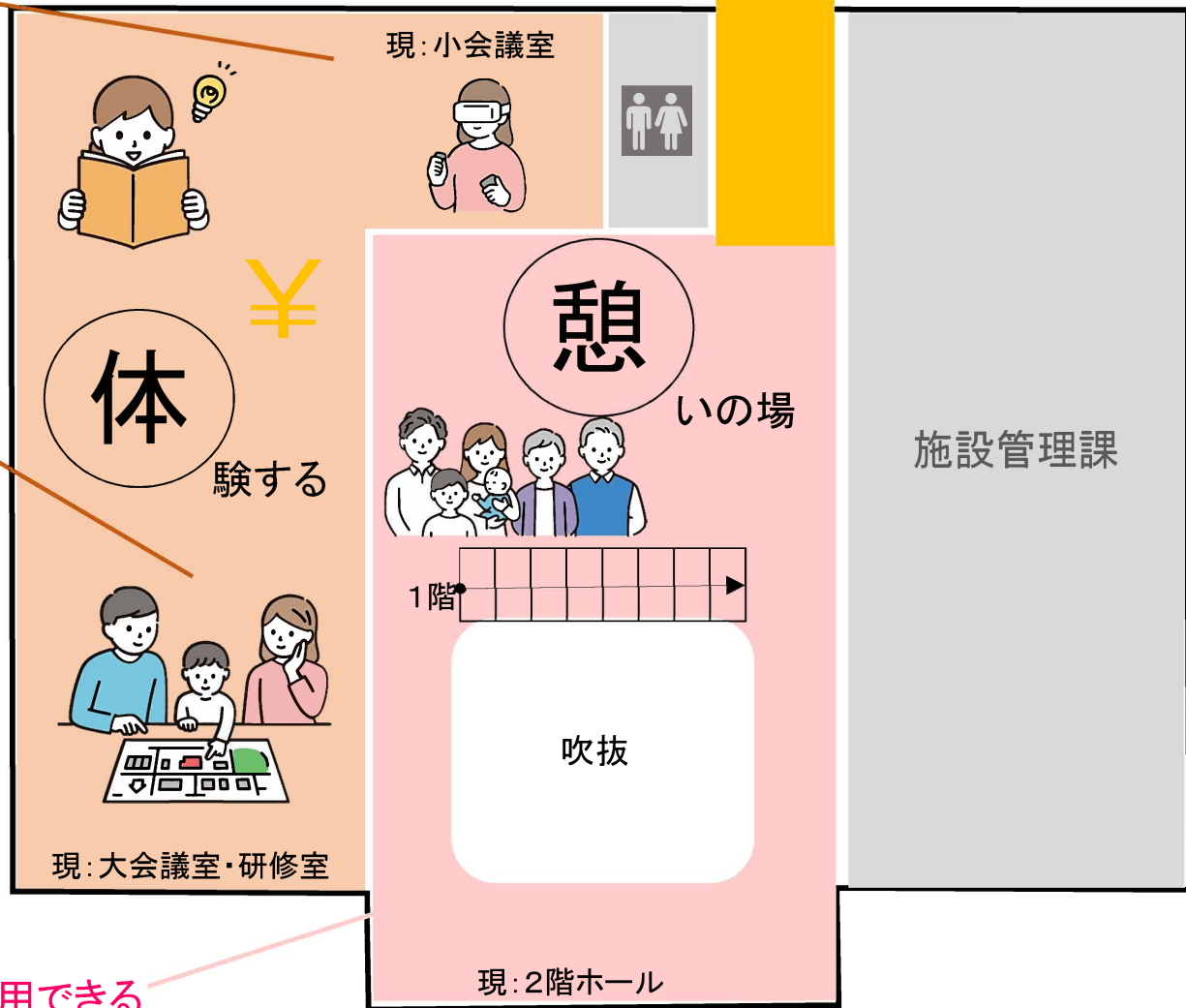
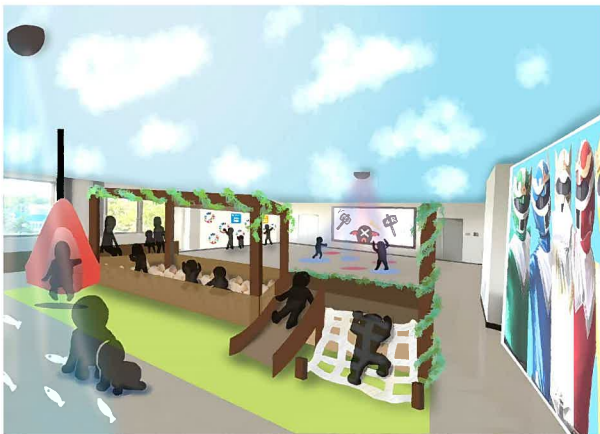
講座の開催やイベント実施により  
情報を広めるエリア



幅広い年代の利用を想定し、  
授乳・おむつ替えスペース設置  
(赤ちゃんの駅)

映像コンテンツ等を利用した  
環境学習体験  
(季節やトレンドによって  
アップデートできるコンテンツ)

ゲームや遊具の利用を通して  
環境に親しみを感じてもらえる  
ような体験を提供



幅広い年代が利用できる  
憩いの場  
(施設全体の情報発信にも利用)

# 資料3 施設イメージ案について 屋外

【参考】令和5年8月27日(日)に開催したゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！祭りの様子

来場者数：約1,000人

